100年をつくる会社
鹿島

PRESS RELEASE

［2026 年 11 月 5 日］

鹿島建設株式会社　広報室
東京都港区元赤坂 1-3-1　〒107-8388
pr-pr-houdou2@kajima.com

コンクリートへの CO_2 固定で国内初の J－クレジットを取得

～CO_2吸収コンクリート「CO_2-SUICOM」の環境価値をクレジットに～

鹿島（社長：桐生雅文）は、2 つの建設工事において、CO_2吸収コンクリート「CO_2-SUICOM®」（シーオーツースイコム）を使用し、合計 7t-CO_2の J－クレジットを取得しました。

今回取得したクレジットは、J－クレジット制度※1 の方法論「CO_2吸収型コンクリートの使用（IN-006）」※2 に基づくもので、コンクリートに吸収・固定した CO_2のクレジット化は国内初となります。これにより、CO_2-SUICOM に吸収・固定された CO_2量が、国の制度に基づく環境価値として認証されました。

※1 省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO_2等の排出削減量、適切な森林管理による CO_2等の吸収量などを「クレジット」として国が認証する制度

※2 建築物や土木構造物に CO_2を固定したコンクリートを使用した場合の CO_2固定量などを J－クレジットとして認証するための算定ルール



新名神高速道路 大津大石トンネル工事
CO_2-SUICOM 製 大型ブロック擁壁



KX-FOREST TATESHINA
CO_2-SUICOM 製 インターロッキングブロック

【背景・経緯】

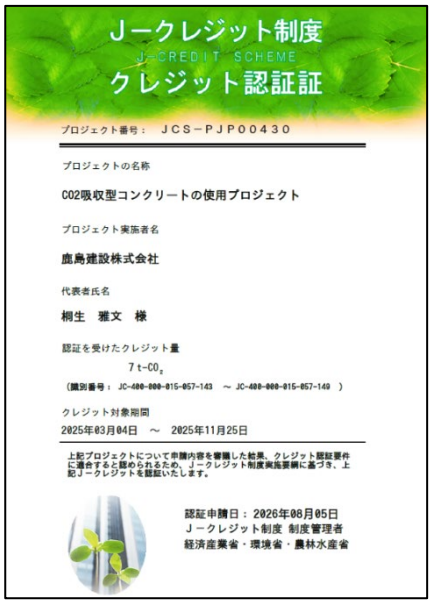
建設材料として広く使用されるコンクリートは、その主原料であるセメントの製造時に多くのCO_2を排出することから、製造段階における CO_2排出量の削減が重要な課題となっています。こうした中、コンクリートの製造時における CO_2排出量の削減に加え、コンクリートに CO_2を吸収・固定する技術への期待が高まっています。

鹿島らが開発した CO_2-SUICOM は、セメントの一部を特殊な混和材や産業副産物に置き換えることで、セメント製造時の CO_2排出量を削減するとともに、炭酸化養生※3 によってコンクリートが固まる過程で CO_2を吸収・固定する環境配慮型コンクリートです。このたび、J－クレジット制度において、コンクリートに吸収・固定した CO_2量をクレジット化する方法論が整備されたことを受け、当社は J－クレジット認証を申請しました。

※3 CO_2を封入した槽内でコンクリートを養生し、安定した環境下で CO_2を吸収・固定させる方法

【Jークレジット取得の概要】

Jークレジットを取得したのは、西日本高速道路株式会社発注の「新名神高速道路　大津大石トンネル工事」で設置した大型ブロック擁壁と、鹿島グループの保養所「KX-FOREST TATESHINA 改修工事」で設置したインターロッキングブロックです。それぞれの製品の製造に CO_2-SUICOM を使用することで吸収・固定された CO_2量を算定し、第三者検証機関による検証を経て、コンクリートへの CO_2固定によるクレジットの認証を国内で初めて受けました。


Jークレジット制度
J-CREDIT SCHEME
クレジット認証証

プロジェクト番号：　JCS-PJP00430

プロジェクトの名称

CO2吸収型コンクリートの使用プロジェクト

プロジェクト実施者名

鹿島建設株式会社

代表者氏名

桐生　雅文　様

認証を受けたクレジット量

7 t-CO2

（識別番号：　JC-000-000-015-057-143　～　JC-000-000-015-057-149　）

クレジット対象期間

2025年03月04日　～　2025年11月25日

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、クレジット認証要件に適合すると認められるため、Jークレジット制度実施要綱に基づき、上記Jークレジットを認証いたします。

認証申請日：2026年08月05日
Jークレジット制度 制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

Jークレジット制度　クレジット認定証

項　目	新名神高速道路 大津大石トンネル工事	KX-FOREST TATESHINA 改修工事
適　用　製　品	大型ブロック擁壁	インターロッキングブロック
認証対象期間	2025 年 3 月 4 日～2025 年 9 月 26 日	2025 年 11 月 25 日
取得クレジット量	6t-CO_2	1t-CO_2

【今後の展開】

鹿島は今後、発注者や自治体、プレキャストコンクリート製品メーカーと連携し、CO_2-SUICOM の建設工事への適用拡大と、Jークレジットの継続的な創出に取り組みます。

また、CO_2固定量の算定の効率化と、環境価値を Jークレジットなどの経済価値につなげる仕組みの活用を進めることで、CO_2-SUICOM をはじめとする環境配慮型コンクリートの普及を加速させ、建設分野のさらなる脱炭素化に貢献してまいります。

（参考）

環境配慮型コンクリート「KAJIMA CONCRETE BASE」

https://www.kajima.co.jp/tech/c_sus_con/index.html

環境配慮型コンクリートの適用により 181t-CO_2 の Jークレジットを取得

（2022 年 8 月 9 日プレスリリース）

https://www.kajima.co.jp/news/press/202208/9c1-j.htm